

福岡赤十字病院 広報誌

2019.10 秋号

Cross & Heart

vol.41

Japanese Red Cross Fukuoka Hospital

Feature 特集

循環器内科 アブレーション治療

幅広い診断力・治療力を有したチームで地域医療に貢献

部署紹介

リハビリテーション課・訪問介護ステーション

Topics

正面玄関リニューアル

みんなの図書室移設

Information

11月行事予定案内

Introduction 登録医のご紹介

内科循環器科 末松医院

社会医療法人喜悦会 那珂川病院



日本赤十字社

福岡赤十字病院

病院の理念

地域とともに世界を視野に信頼される最善の医療を

基本方針

1. 質の高い安全な医療
2. 救急医療
3. 国内外の医療救援活動
4. 地域連携
5. 教育・研修・研鑽
6. 患者・職員満足度の向上

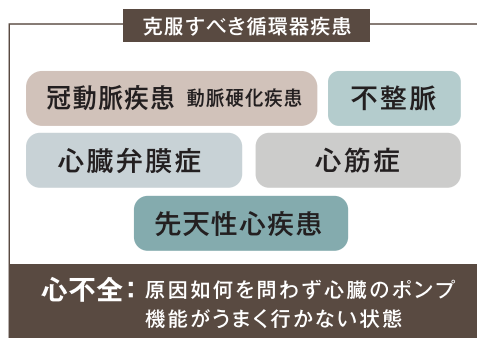
診療科紹介 循環器内科

2019年4月より循環器内科に赴任いたしました向井と申します。これまで、あらゆる循環器疾患の診療に従事して参りました。心臓カテーテルの経験は1万例以上であり、中でも不整脈のカテーテルアブレーションは3000例を手がけてきました。循環器内科は正しい診断能力もさることながら、緊急症を含めて迅速なフットワークと実践力を求められる診療科です。



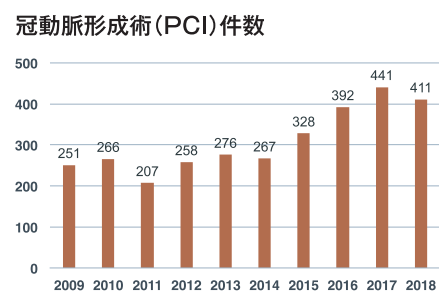
循環器内科・部長
集中治療部・部長
向井 靖
Yasushi Mukai

日本循環器学会 循環器専門医・Fellow(FJCS)
日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)認定医
日本不整脈心電学会 不整脈専門医 等



循環器疾患の病態はしばしば複雑ですが、大別すると上図の5つの疾患カテゴリと、その終末像としての心不全についての診断・治療が診療の柱となります。新たな治療法の開発、多様化も著しい昨今、総合力のある循環器内科をスローガンしたいと思います。

冠動脈疾患への対応

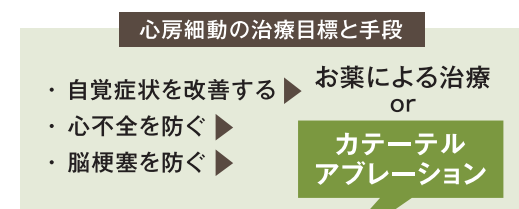


当科では急性冠症候群(心筋梗塞や不安定狭心症)や急性心不全の緊急対応を行うセンターとして、福岡都市圏の循環器救急に貢献をして参りました。冠動脈インター

ベンションの治療件数は福岡県内でも有数となっており、ロータブレード等の特殊デバイスの施術も必要に応じて適正に行っています。心臓血管外科とも十分に協議し、冠動脈バイパスとの役割分担も最適化し、良好な治療成績を収めています。

不整脈の克服

あらゆる不整脈の治療を担当いたします。近年は心房細動の治療の進歩が著しく、アブレーションなどの治療件数が増えています。心房細動の治療選択は年齢や疾患背景によって変わりますが、主要な治療目標は下の表に示す通りです。個々の患者さんごとに病状を評価して治療法や導入順序を決めていきます。



心房細動のアブレーション治療

カテーテルアブレーションは頻脈性不整脈の責任部位を焼灼する治療です。

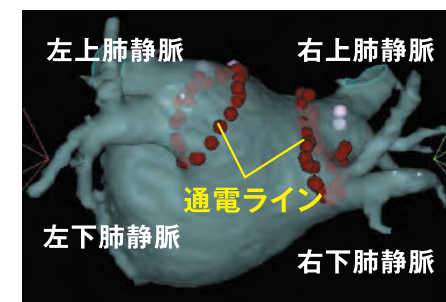
総合力のある循環器内科へ 当科が誇るアブレーション治療とは

あらゆる不整脈病型が対象となりますが、近年は心房細動の治療が注目されています。心房細動では心房全体が渦巻き様の興奮に支配されているため、根本的な対処は困難とされてきました。ところが、**左心房**に還流する4本の**肺静脈**の合流点が**心房細動**の発生に関与することから、近年では肺静脈隔離術と呼ばれる手法が普及し、多くの患者さんの福音になっています。

肺静脈隔離術の透視像



3次元マッピング上の治療完成図(左房後面像)



図のように、左心房と肺静脈の位置関係を3次元マッピングシステムにより詳細に把握し、カテーテル操作はミリ単位の精度で行います。

当科のアブレーションは無駄のない技術で全国的に見ても手技時間が短く、患者さんの負担が小さいのが特徴です。病状が進行したケースでは必要に応じ薬物も併用し、ほとんどの方で病状コントロールが得られます。

心不全の予後改善へ

超高齢化社会において、心不全パンデミックがすでに来ていると言われます。心不全は多くが慢性の病態であり、点ではなく線の診療が重要です。必要に応じて集中治療、薬物治療の最適化、両心室ペースメーカー導入などの医学的アプローチを行います。その後は多職種チームで心臓リハビリテーション、患者教育、退院後の支援を行うこと、退院後は地域連携も含めた包括的ケアを継続することを意識しています。それが線となって患者さんに環元されることで、本当の予後改善が得られると考えています。

おわりに

当科では常勤スタッフ10名を擁し、循環器内科医師が夜間も常駐しておりますので、365日/24時間、急患の受け入れが可能です。胸背部痛、動悸、失神、呼吸困難など循環器疾患が疑われる病状の患者さんはいつでもご相談ください。病状的に急ぐ場合は躊躇せず救急搬送していただければ、直ちに循環器専門医が対応させていただきます。



循環器内科およびカテーテル室のスタッフ

福岡赤十字病院 循環器内科

Tel 092-521-1211 (代表)
新患外来(月)～(金)AM
(※事前予約は必須ではありません)
急患対応は365日/24時間(お電話ください)



診療科目

リハビリ テーション課

Rehabilitation

▶リハビリテーションとは

リハビリテーション(rehabilitation)の語源はラテン語で、re(再び・戻す)+habilis(適した・ふさわしい)、から成り立っており、「本来あるべき状態への回復」を意味します。リハビリテーションでは、患者さんが再び人間として充実した生活が送れるように様々な治療法で働きかけが必要になります。当院では、理学療法、作業療法、言語療法の3部門を備えています。

▶リハビリテーション課の現状

今年度から組織改編に伴い、医療技術部所属となりました。当課は現在、医師1名、理学療法士11名、作業療法士6名、言語聴覚士3名、受付1名で構成されています。理学療法では立つ、歩くといった基本動作や歩行練習を行い、作業療法では食事や更衣、入浴といった応用動作の練習を行います。言語療法では失語症や高次脳機能障害、嚥下障害の方に対し、検査、訓練、指導を行います。それぞれの職種で担う役割は異なりますが「患者さんが入院前と同様の生活水準まで回復すること」という目標のもと、患者さんに接しています。そのため、医師・看護師等の他職種と連携し、情報共有を行いながら、評価・治療にあたっています。

対象となる疾患は、骨折術後や脳卒中、肺炎、心筋梗塞等多岐にわたります。当課の施設基準は、運動器・脳血管・呼吸器・心大血管リハビリテーション料のすべてIを取得し、2015年度にはがん患者リハビリテーション料も取得し、スタッフ全員研修を経て、業務に当たっています。また各々下記認定資格を取得することにより、高度な専門性と幅広い視野を持ち、あらゆる場面に対応できるセラピストになるように日々自己研鑽に励んでいます。

- 三学会合同呼吸療法認定士……………9名
- 心臓リハビリテーション指導士……………7名
- 福祉住環境コーディネーター2級……………7名
- 介護支援専門員……………3名
- 福祉用具プランナー……………2名
- 呼吸ケア指導士……………1名
- 認知症ライフパートナー2級……………1名
- 健康予防管理専門士……………1名
- アロマコーディネーター……………1名

▶超急性期リハビリテーション

近年早期離床が機能改善につながり、入院期間を短縮させ、患者さんの予後に寄与することは多数報告されています。当院も急性期病院であるため、主に手術や発症直後の間もない患者さんに対して、早期より365日体制で、リハビリテーションを実施しています。直近の臨床指標における早期リハビリテーション(入院4日以内)開始率では、運動器疾患、脳血管疾患ともに、平均で90%を上回っており、今後も早期介入、早期離床に努めていく次第です。また心臓リハビリテーションにおいては、週2回の外来にて運動療法や生活指導を行っており、退院後も継ぎ目のない支援を心掛けています。

▶他職種及び後方病院との連携

超急性期リハビリテーションの前に、集中治療室へ入院した患者さんに対して、医師、看護師、臨床工学士と毎朝カンファレンスを実施しています。他職種が参加することで、情報の共有化を図っています。集中治療室から一般病棟へ転棟後も、栄養士や薬剤師、ソーシャルワーカーも加わり、定期的にカンファレンスを実施し、現状報告や今後の方針を検討しています。また多職種で構成された栄養サポートチームや呼吸器ケア、緩和ケアチーム等の一員としても携わっています。

大腿骨頸部骨折では、福岡市医師会方式の地域連携バスを使用することがあります。後方支援病院と共通の評価法を用いた情報の収集・伝達・還元を行い、一貫した治療の流れを把握することができています。また早期よりリハビリテーション病院を紹介し、1日でも早い自宅退院、社会復帰が出来るように、サポートしています。

おわりに

当院は現在平均在院日数が10日前後であり、当課も急性期リハビリテーションに全力を注いでいます。今後も他職種や後方支援病院と密に連携をとり、患者さんへよりよいリハビリテーションが円滑に提供できるように精進を重ねて参ります。

リハビリテーションに関して気になることがありましたら、当課までお気軽にご相談下さい。



訪問看護 ステーション

Home Nursing
Center

福岡赤十字訪問看護ステーションは、1997年4月に開設いたしました。現在、管理者の私を含め看護師11名と事務クラーク1名のスタッフで運営しております。

急性期病院に付属する訪問看護ステーションとして、終末期の方や慢性疾患、高齢者の方の予防ケアなど様々な看護を行っております。利用者の方の約60%は福岡赤十字病院からの紹介患者さんですが、地域の病院やクリニックまたケアマネージャーからの依頼も増えております。140名程の患者さんを現在訪問させていただいておりますが、約60%ががん患者さんです。病気に向き合いながら「住み慣れた場所でいつものように暮らし続けたい」という思いに添い、患者さん・ご家族に寄り添い、自分らしく生きていくということを支えていけたらと思っております。

また、ケアプランセンターも併設しており、がん終末期の方など医療的ケアが必要な利用者の方に、介護面でも

迅速な対応を行っております。当ステーションは様々な診療科を経験したスタッフで構成されているため、それぞれの強みを活かしながら日々看護を提供させていただいております。

2025年問題を考えると、地域の方々が安心して過ごしていただくためには、訪問看護師としての役割を考え介入していくことが重要になります。しかし、まだまだ訪問看護が地域で周知されていないことを実感しております。赤十字病院だけでなく、地域の医師や訪問看護師、地域包括支援センター、薬剤師など患者さん・家族を取り巻く多職種の方々との連携を強め、訪問看護師として自己研鑽に努め地域の皆さまのためにスタッフ一同頑張っていきたいと思っております。いつでも、お気軽にご相談ください。



訪問看護
ステーション

管理者
太田 純代



■ 訪問看護の内容

健康管理・相談	体温・血圧測定、健康状態のチェック、精神的支援
治療のための看護	カテーテル等の管理、服薬指導と管理
在宅療法の援助	入浴介助、洗髪・清拭、食生活・排泄の援助、床ずれ予防のためのケア
在宅でのリハビリ	体位変換、関節などの運動、日常生活動作の訓練
介護者の相談	介護や日常生活に関する相談、精神的支援
認知症の看護	認知症のケアと相談、生活のリズムの調整
ターミナルケア（緩和ケア）	疼痛緩和、心理面のケアなど“自宅で迎える最期”をお手伝いします

サービスエリア

福岡市(主に南区、中央区、博多区)地域外は要相談。

■ ケアプランセンターの内容

要介護状態に応じたケアプランの作成
介護保険利用料についての管理
介護サービスに関する相談

当ステーションでは、看護経験豊かな看護師が365日24時間体制で対応いたします。訪問看護ステーション・ケアプランセンターについては、下記相談窓口へご相談ください。

相談窓口

月～金 8:50～17:30
☎ 092-521-2366 (直通)

Topics

正面玄関リニューアル



本年7月より実施しておりました正面玄関風除室の改修工事が終了し、9月2日にリニューアルいたしました。工事期間中は大変ご不便をおかけしましたことを改めましてお詫び申し上げます。

皆さまをお迎えするために改修された、新たな正面玄関をご紹介します。

今回の最も大きな改修は、風除室を増設したことです。これまでは病院全体が陰圧構造となっているため、正面玄関が開く際に外気がエントランスホールに吹き込み、夏は暑く・冬は寒い思いをされていたことと思います。この改修で空調管理ができ、快適なスペースを提供できると思います。

みんなの図書室移設

この度、みんなの図書室を本館1階外来からアネックス棟1階いこいの広場内に移設いたしました。

みんなの図書室では、小説・医学情報図書・漫画などの本を揃えており、外来診察待合スペースやいこいの広場・病室など、院内で閲覧いただけます。また、パソコン（インターネット利用可）も設置しております。

ぜひ足をお運びください。皆さまのご利用をお待ちしております。



■ ご利用案内

開 室 時 間	(月)～(金)9:00～16:00(パソコン利用受付15:30まで)
利 用 対 象 者	入院・外来患者さんとそのご家族
貸 出	入院患者さん⇒1人10冊まで1週間お借りいただけます。 外来患者さん⇒1人2冊まで当日のみお借りいただけます。
パソコンの利用	インターネット利用可能(1人30分以内)

※医学情報図書もございますが、診断や治療の詳しい説明や疑問は担当医師にご相談ください。

Information

11月行事予定案内



第57回 市民公開講座

11月11日(月)
14:00～15:30
椎木記念ホール

「老化と嚥下障害」をテーマに、感染症内科の石丸副院長と言語聴覚士・管理栄養士が講演します。詳しくはチラシ・ホームページに掲載しています。お気軽にご参加ください。



赤十字 トワイライト コンサート

11月16日(土)
14:00～15:00
椎木記念ホール

患者さんや地域の皆様に音楽による癒しを提供するため、九州大学軽音楽部ルアナブラザーズOBによるライブを開催します。当院院長も出演します。ぜひご鑑賞ください。

地域とともに！登録医紹介

当院の基本理念である「地域と共に世界を視野に信頼される最善の医療」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

内科循環器科

末松医院

Q クリニックの特徴

私が父の診療所を継承し19年となりました。父が当地に開院し約50年になりますが、気軽に受診し相談ができる街の診療所として地域医療に協力させていただいております。私は循環器医として大学の出張病院に十数年にわたって勤務しておりましたが、突然父が病にたおれ、父の仕事を継続すべく開業し現在に至っております。

当院の特徴は福岡赤十字病院をはじめとする地域の基幹病院と連携をとりながら、様々な病状に対応する総合医の側面と専門的診断を行う循環器専門医の側面があることです。患者さまのお話にしっかり耳を傾けた後に基本的な診察を行い、病状にあわせて血液検査、胸部レントゲン検査、心電図検査等の検査を行います。更に必要ならば、超音波検査、24時間ホルター心電図検査、エルゴメータ運動負荷検査、携帯型睡眠時無呼吸検査、肺機能検査などの専門的な検査も行います。特に超音波検査は、技術のブラッシュアップを継続しながら、最新の装置を用いて力を注いでおります。病状の説明についてはイラスト、動画を用いて時間の許す限り分かりやすく説明するように努めております。

なお、健康診断、禁煙指導、介護、在宅医療、認知症に関する相談も承っております。

Q 地域の皆様へ一言

今後も気軽に相談できる診療所として地域医療貢献に努めつつ、かかりつけ医として生活習慣病などの慢性疾患の指導を行ってまいります。スタッフと共に患者の皆様には可能な限り温かく優しく接していく所存です。



▲ 末松 知真 院長 最新の超音波検査装置を用いて診断いたします。



院 長 末松 知真 先生
(日本内科学会認定総合内科専門医・
日本循環器学会認定循環器専門医)

住 所 〒810-0005 福岡市中央区清川3丁目14-10

T E L 092-531-2506

診療科目 内科・循環器科

診療時間 月～金 9:00～13:00、14:30～18:00
土 9:00～12:30

休 診 日 土曜午後・日曜・祝祭日、お盆期間、年末年始

ホームページ <http://www.suematsu-cl.sakura.ne.jp/>

社会医療法人喜悦会

那珂川病院

Q 病院の特色

社会医療法人喜悦会は、公的医療機関や高次医療機関・開業医の先生方と地域の皆様に支えられて今年で法人設立60周年を迎えました。

当院は急性期病棟・地域包括ケア病床・回復期リハビリテーション病棟・緩和ケア病棟で成り立っており、患者さんの様々な病状に合わせた対応が可能な病床機能を備えています。回復期リハビリテーション病棟は年中無休でリハビリが実施できる体制をとっており、在宅復帰率は92%前後で推移しています。緩和ケア病棟では臨床心理士や音楽療法士によるケアの提供や、季節の催し物やアニマルセラピー等も行っており、質の高い緩和ケアの提供に努めています。

また、健診センター・透析部門・在宅診療にも力を入れており、地域のニーズに出来る限り応え、必要とされる医療機関を目指しております。求められる医療の全てを当院だけで対応することは難しいですが、喜悦会グループで力を合わせ、連携医療機関、介護・福祉施設等と緊密な連携を取り、最善の医療・介護サービスが提供できるように努力しております。

Q 地域の皆様へ一言

法人設立60周年を迎えることができ、これもひとえに連携医療機関はもちろん、地域の皆様のご支援の賜物ととても感謝しております。

当院は経験豊富な医師による標準的で安全な医療を提供しております。「身近にあるちょっと大きなかかりつけ医」というスタンスで、高度急性期治療終了後の治療継続や開業医の先生方がお困りの時などにお役に立てるよう、役割を果たしていきたいと思っております。

また、生活の場であるご家庭や施設での医療も安心して受けていただけるよう、南区医師会の先生方と緊密に連携させていただいております。周辺で在宅医療を行っている先生方と協力して「地域で最期まで支えよう会」を結成し、人生の終末期をご家庭や施設で穏やかに過ごすためのお手伝いも始めております。



▲ 吉村寛志院長(中央、2019年1月15日付にて院長就任)と医療連携室スタッフの方々



院 長 吉村 寛志 先生
(日本外科学会専門医・日本消化器外科学会専門医・
日本大腸肛門病学会専門医)

住 所 〒811-1345 福岡市南区向新町2丁目17-17

T E L 092-565-3531

診療科目 内科・外科・消化器外科・消化器内科・整形外科・
循環器内科・脳神経外科・肛門外科・血管外科・
泌尿器科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・透析科

病 床 数 162床
(一般病棟92床(地域包括ケア病床25床含)、回復期
リハビリテーション病棟46床、緩和ケア病棟24床)

診療時間 平 日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00

休 診 日 日曜・祝祭日、年末年始(12/31～1/3)
※ただし急患は24時間いつでも受診可能です。

ホームページ <http://www.nakagawa-hp.com>

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です

2019年10月

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
総合診療科	総診当番医①	○	○	○	○	○	内科一般	
	総診当番医②	○	○	○	○	○	※当番医：内科系医師による交替制	
消化器内科	青柳 邦彦			▲	○		消化管 (食道・胃・小腸・大腸)	副院長
	平川 克哉				▲			部長
	工藤 哲司		▲	○				副部長
	近藤 雅浩	▲				○		
	野村 亜貴子				▲			
	今津 愛介		▲			○		
	吉原 崇正	○				▲		
	西田 美沙子		○		▲			
腎臓内科	満生 浩司	▲	○	○			腎臓	部長
	中井 健太郎	○	▲					副部長
	高江 啓太		▲		○			
	宿理 朋哉			▲		○		
	古原 千明	○						
	井上 めぐみ	▲						
糖尿病・代謝内科	佐々木 伸浩		○		○		糖尿病、代謝 生活習慣病	部長
	納富 威充		▲	●	●			
	川本 徹	○		▲	●			
	於久 真由美	●		○	○	●		
	高野 瑛子		●	▲	▲			
内分泌内科	中川 瑞穂		○	○		○	内分泌・糖尿病	部長
循環器内科	向井 靖		○	○	○		循環器	部長
	増田 征剛	○			○			副部長
	松川 龍一	○			○			副部長
	松浦 広英		○	○				
	栗林 祥子		▲			○		
	徳留 正毅			○				
	河合 俊輔	○						
	岡原 有秀					▲		
	豊原 貴之							
	生田 拓							
高血圧内科	大坪 俊夫	○					高血圧	部長
	河口 知允	○			○			部長
呼吸器内科	恐田 尚幸	▲		○			呼吸器一般	副部長
	山下 翔		▲		○			
	岡岡 祐希				▲			
	河野 拓							
肝臓内科	早田 哲郎		○	○	○	○	肝疾患一般	部長
	西澤 新也	○			○			部長
	東 具隆							
	宮山 隆志							
血液・腫瘍内科	谷本 一樹		○		○	○	血液疾患一般 固形腫瘍の化学療法	部長
	平安山 英穂			○				副部長
	河野 一郎	○						副部長
	坂本 育治				▲			
脳神経内科	山中 佳未						脳卒中・神経疾患	
	北山 次郎	○			○			部長
	石東 光司		○			○		
	岡田 卓也			○				
膠原病内科	佐原 範之						膠原病	
	井上 靖	▲	○	○		○		部長
	田中 淳		○		○			
	木村 光一							
感染症内科	石丸 敏之		○			○	感染症一般 ※末は紹介は可 ※金は午後のみ(13時～15時受付)	副院長
	中澤 愛美				●			
	後藤 健志					●		
	寺坂 禮治							
外科	中房 祐司		○				一般外科 消化器外科、肝胆膵外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科 腹腔鏡下・胸腔鏡下手術 腎移植、腎不全外科 ERCP、PTCD、EST	院長
	永井 英司		○					副院長
	本山 健太郎	○	▲		○			部長
	小島 雅之		○		○			部長
	上田 純二		○		○			部長
	井上 重隆		○		○			部長
	小倉 康裕		○		○			副部長
	梁井 公輔	○	○					
	錦 建宏	○			○			
	安井 隆晴	○			○			
	永松 伊織		○		○	○		
	松田 圭央	○			○			
	鬼塚 哲	○	○	○	○			
	佐藤 瑤		○		○			
	松本 昂		○		○			
	乳 藤 担当	○	○	○	○			
心臓血管外科	小江 雅弘		○		○		心臓外科、大動脈瘤 血管外科 ※火・木のみ	部長
	森重 翔二		▲		▲			
脳神経外科	綴 仁	○			○		脳腫瘍 脳血管障害(脳卒中)	部長
	吉岡 努		○				脳神経外科疾患	部長
	高木 友博	▲	○		▲	▲		
	古賀 隆之	▲	▲		▲	▲	※水は手術日です	

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬 アトピー性皮膚炎	部長
	森澤 紘美	○	○	○	○	○	※火・木は10時まで、再診は完全予約制 ※月は10時まで、再診は完全予約制	
眼科	大石 誠一郎	○	交替制	○	交替制	○	糖尿病性網膜症 白内障、緑内障	部長
	三股 政英	○		○		○	※火・木は10時まで、再診は完全予約制 ※月1・3・5火曜日は新患のみ	
	非 常 勤							
整形外科	泊 真二	○	定期手術日				脊椎・脊髄外科	副院長
	伊藤 康正	○		○			関節外科・リウマチ外科	部長
	加藤 剛	○			交替制		脊椎・脊髄外科	部長
	由布 竜矢	○		○		○	膝関節・脊椎外科・一般	副部長
	安原 隆寛	○				○	手の外科・外傷・一般	
	岩田 真一郎			○		○		
	手島 鋭	○					※木は10時まで、火は手術日です	
産婦人科	西田 眞	婦			婦	産	周産期 悪性腫瘍、良性腫瘍 腹腔鏡手術 ※火・木は10時まで	部長
	遠城 幸子	産	産	産	婦	産		部長
	栗原 秀一	産			婦	産		副部長
	芥川 秀之		婦	産	婦	産		
	安藤 真理子	婦	産	産	産	産		
	和田 智子	婦	産	産	産	産		
	吉田 優	産		婦	産	産		
	結城 光太郎		産	産		産		
	岸田 薫	産			産	産		
	駒水 達哉							
小児科	波多江 健	○		○		○	腎疾患	部長
	久保 鋭治			○		○	新生児	部長
	小野山さの	○				○	感染症	副部長
	松倉 幹		○		○		神経	
	西村 真直		○		○		一般・腎疾患	
	中尾 泰介						一般	
	原田 頌隆						一般	
耳鼻咽喉科	非常勤(神経再来)				●		神経	※予約制、午前中のみ
	非常勤(循環器再来)			○			循環器	※予約制、午前中のみ
	高岩 一貴	○	○		○		耳鼻科一般 ※水・金は10時まで ※金は非常勤医師の午前中のみ ※緊急時は対応いたします	副部長
	原 奈津貴	○		交替制	○			
	鈴木 智陽	○	○		○			
	非 常 勤					○		
形成外科	濱田 裕一	○		○			再建外科・リンパ管外科・ 先天性疾病・顎顔面	部長
泌尿器科	清島 圭二郎	交替制	●	●		○	尿路結石 排尿機能障害 尿路感染症 尿路器腫瘍 腹腔鏡手術 ロボット手術	部長
	秋武 正和		○			●		副部長
	小林 武		○	●	●			
	伊藤 大輔	●				○		
	宮崎 真優							
	非 常 勤					▲		
精神科	芝田 寿美男	●	●	●	●	●	一般・行動療法・強迫性障害 ※完全予約制、新患は月・水・金のみ	部長
	非 常 勤			●	●	●		
歯科・ 歯科口腔外科	榊山 哲郎	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科 ※再診は完全予約制	部長
放射線科 (診断)	松尾 芳雄	検査依頼(CT・MRI・RI等)のみ 電話予約制						部長
	川野 倫作							
放射線科 (治療)	新堀 裕子	検査依頼(CT・MRI・RI等)のみ 電話予約制						部長
	楠 正興							
麻酔科	松延 亮	○	○		○		放射線治療	部長
	非 常 勤	○					※火は午前中のみ	
	生野 慎二郎	術中管理						部長
	江口 明							部長
	迎 雅彦							部長
	楠本 剛							副部長
	野口 紗織							
	白 峻永							
	三原 礼子							
	大久保 美穂							
	三股 麻衣子							
	西山 憲一							
病理診断科	西 山 憲一	人体病理一般						部長
検査部	北原 大地	検体検査管理						
救急科	友尻 茂樹	救急(各種中毒疾患含む)						部長
	荒武 憲司							副部長
	大矢 浩史							副部長
	皆川 雄郷							
	村瀬 美奈子							
健診部	大坪 俊夫	人間ドック・健康診断						部長

●受付時間 8時10分～11時00分 (診療開始 8時40分)

※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限りです。

●急患診療体制

※救急車や医療機関からの紹介患者の受入れは、24時間体制で対応いたします。

内科系	平 日	17時00分～23時00分
	土・日・祝日	8時30分～23時00分
小児科	平日(祝日除く)	17時00分～19時30分
	土(祝日除く)	9時00分～17時00分

●休診日 土・日・祝・年末年始(12/29～1/3)

※ただし、2019年10月22日(火)は休診日といたします。

※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎092-521-1211 (代表)